

## 南三陸町ブルーツーリズム事業講座体験レポート！

9月から実施している南三陸町ブルーツーリズムの様子を紹介します。

### 志津川湾ものしり講座



9/11  
日

#### ビーチクリーンプログラム体験！

18人が参加し、講師の太齋氏から南三陸町の海の自然の豊かさについて説明を受け、その後、場所をサンオーレそでは海水浴場にて、ビーチクリーンを行いました。

20分程度の短い時間で、多くのゴミが拾えたことに参加者はとても驚いており、なぜこんなにゴミが発生するのか考えさせられました。



9/25  
日

#### 志津川湾の生き物たち

約20人が参加し、南三陸町の海の現況について学ぶことができました。

南三陸町の海は、暖かい海域の魚と冷たい海域の魚が見られる珍しい場所で、近年では新種の魚も見つかっているということに参加者はとても驚いていました。



### 今後の講座スケジュール

#### ▶講座1 まずは自分たちの海を知ろう！目指せ！海の語り部“志津川湾ものしり講座”

日時	場所	講座内容
11月20日(日) 午後7時～9時	生涯学習センター	海の恵みを受け続けるために・修了式

※当日飛び入りのご参加も可能です。

#### ▶講座2-1 海の楽しみを学びにつなげる指導者になろう！“ブルーツーリズムインストラクター養成講座”

開催日時	場所	講座内容
11月19日(土) 午後1時～5時	南三陸・海の ビジターセンター	インタープリテーション講習 日本インタープリテーション協会 古瀬代表による自然との会話のしかた
11月20日(日) 午前9時～午後3時		自然体験活動指導者(NEAL)講習 全国体験活動指導者認定委員会自然体験活動部会で策定された基準講習
11月26日(土) 午後1時～5時		

※10月のSUP、カヤック、スノーケリング講習会に参加した人や今後インストラクターに興味がある人の参加も追加で受け付けます。参加を希望する人は商工観光課までご相談ください。

#### ▶講座2-2 環境に配慮した生活や営みをするための基盤となる情報を得よう！“環境セミナー”

詳しくは、別途配布のチラシまたはホームページに記載していますので、ご覧ください。

申し込み・問い合わせ先 商工観光課 観光振興係 ☎46-1385

メールkankou@town.minamisanriku.miyagi.jp (参加者氏名、生年月日、住所、連絡先をお伝えください)

### ブルーツーリズム インストラクター養成講座



9/7  
水

#### SUPインストラクター講習

10人が参加し、パドルの漕ぎ方や曲がり方などを学び、何度も水の中に落ちながらも練習を続けていました。

最後にパッチテストを受け、全員が合格し、参加者はとても充実した顔つきでした。

今後は、インストラクターとして活躍が期待されます。



9/27  
火

#### シーカヤックインストラクター講習

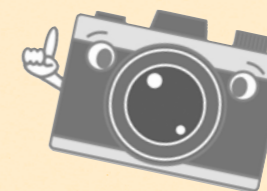
5人が参加し、シーカヤックの操作技術や指導する上でのポイントを学びました。

講習を終えた参加者からは「操作技術だけでなく、教えるポイントが学べてとても参考になった」といったコメントが多かったです。

### 広報担当からのお知らせ

この広報11月号は、10月20日現在の情報です。新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、この号でお知らせしているイベントなどが中止や延期となる可能性があります。

その際は、町HP、防災行政無線やフェイスブックなどでお知らせしますので、ご了承くださいますようお願いいたします。



みな  
レポ

### 百寿のお祝い 佐藤ヨシエさん(㊦天王山)



9月25日(日)に百寿を迎えた佐藤ヨシエさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。ヨシエさんは、好き嫌いがなくなんでも食べるそうで、普段は民謡を聴いて過ごしているそうです。洗濯などを自分でされているヨシエさん。ご長寿の秘訣は、ほぼ毎日結の里に集まり、近所の人たちとよくコミュニケーションをとっていることだそうです。

百歳を迎えられた事が本当に嬉しいと話していたヨシエさん。お子さんが3人、お孫さんが7人、いらっしゃるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。

ヨシエさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとございます。

### 秋葉復興大臣が 本町を訪問しました



10月1日(土)、道の駅「さんさん南三陸」のグランドオープン記念式典に参加した秋葉復興大臣が式典後、南三陸ホテル観洋の語り部バスと南三陸ハマレ歌津を視察しました。

語り部バスでは、実際に語り部バスに乗車して1時間ほど町を視察し、南三陸ハマレ歌津では、各商店を1軒1軒周り、現況を聞いて回りました。

秋葉復興大臣は、会見で「事業が一部残っているものについて、引き続き国として支援を継続していく方向で検討していきたい。移転元地の課題についても、宮城県は被災3県の中で最も進んでいるほうではあるが、復興庁の職員とも現地に度々伺いながら移転元地の有効活用積極的に取り組んでいきたい。」と語りました。

### 志津川高校給食提供

10月3日(月)志津川高校で県内の全日制公立高では初の取り組みとなる昼食の提供が行われました。

1食250円で提供される昼食は、主食を除く3、4品で初日のメニューは、味噌汁、チキン南蛮、ごぼうサラダ、梨のゼリーでした。

令和5年度の全国募集に向けた高校魅力化の取り組みの一つである今回の昼食提供は、希望した生徒43人と教職員15人に行われ、生徒たちはどこか懐かしそうに食べていました。

